セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモにご注意ください！

和名　セアカゴケグモ
科名　ヒメグモ科 (Theridiidae)
学名　*Latrodectus hasseltii*
原産地　オーストラリア
特徴　成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条がある。

※左写真は、若い個体であり、成熟すると白い斑紋は消える

和名　ハイイロゴケグモ
科名　ヒメグモ 科(Theridiidae)
学名　*Latrodectus geometricus*
原産地　亜熱帯地方
特徴　成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。ハイイロゴケグモの色彩はさまざまで、腹部背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として斑紋を有するものなど変異が多い。

ゴケグモの被害について

※毒をもっているのは雌だけです

咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関にご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば殺したクモを病院へご持参ください

咬傷例

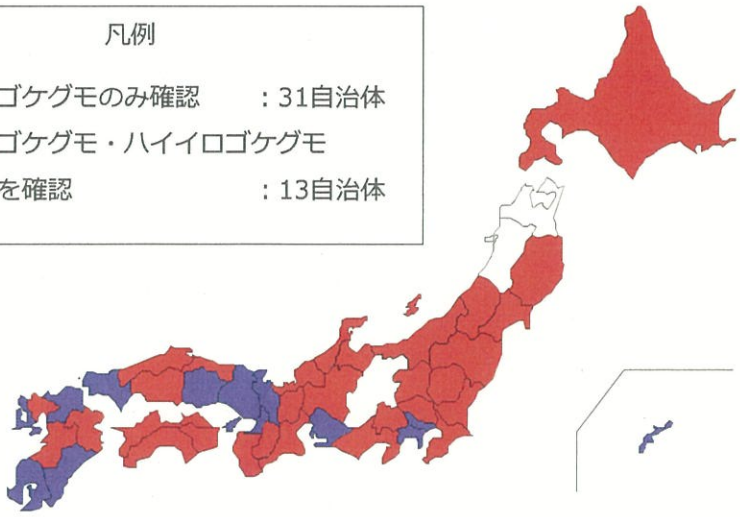
- ゴケグモは攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあります
- 日本では主に6～10月にセアカゴケグモの咬傷例が報告されており、ほとんどが軽症ですが、重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で死亡した例はありませんが、オーストラリアでは死者が出ています
  （血清開発後の死亡例はありません）

今までにセアカゴケグモ・ハイイロゴケグモが確認された都道府県（全44自治体）(2017年2月14日現在)

※ゴケグモが今までに1回しか確認されていない場所も含む

凡例

- セアカゴケグモのみ確認　：31自治体
- セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモの両方を確認　：13自治体



セアカゴケグモとハイイロゴケグモは、港湾地域又はそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性があります。

国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したものが運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大したと考えられています。

ゴケグモの生息する場所

- 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物の窪みや穴、裏側、隙間に営巣します
  例)自動車、プランターの底、室外機の裏、庭に置いた靴の中など
- 屋外に置かれていた傘、衣服、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります
- ゴケグモに咬まれないように屋外で作業する場合は、軍手など手袋を着用してください

ゴケグモを発見した場合

- ゴケグモを発見した場合は、お住まいの自治体にご連絡ください
- ゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないようにしてください
- 駆除するには家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、靴で踏みつぶす等の物理的な方法があります
  （生きたままのゴケグモを洗い流さないよう注意）
- 周囲にも潜んでいたり、卵がある可能性があるので、よく確認するなど注意してください

ゴケグモを拡散しないために・・・

ゴケグモの国内での分布域の拡大の抑制のため、
ゴケグモが生息している地域からの車での移動や貨物の運送のときなど、
ゴケグモが車や荷物に付着した状態で移動しないようご注意ください

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属は、外来生物法に基づく“特定外来生物”に指定されています

外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害の防止を目的に、外来生物法では特定外来生物を指定し、これらの生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることを禁止しています。セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属については、人の生命又は身体に関わる被害があることから、特定外来生物に指定されています。

外来生物法について詳しく知りたい方は下のURLをご覧ください
http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html

製作：環境省外来生物対策室